



## 再始動に向けて

理事長 村松 満

早いもので、コロナ禍での生活もかれこれ1年近くになり、わが法人においてもすっかり三密回避、リモート、オンラインなどの言葉が定着したようです。幸いにといいべきか、奇跡的といふべきか、子供たちや入所者をはじめ、職員、関係者の誰一人感染することなく、今日まで恙なく日常を過ごしています。感謝の外ありません。

それにしても、この感染症のしぶとさは想像を超えているように感じます。アメリカを始め、主要国のトップやその周辺にまで感染が及び、世界的に見れば、まだまだ拡大していく様相を見せています。しかも、他国では一度感染し、回復したにもかかわらず再び感染した症例も報告され、開発中のワクチンの効果さえ疑問視されるような議論もなされています。これからも、気を引き締めて感染防止に努めていくしかありません。

ただ一方で、明るい兆しが見えてきているのも事実です。今年の3月末、東京オリンピック・パラリンピックが翌年に延期が決まったころは、国内の空気は一様に来年の開催も無理だろうという観測が広がっていました。

しかし、今や大会関係者の多くは来年夏の開催に自信をもち、本格的に、その準備に力を入れ始めています。この違いは何か。やはり新型コロナウイルスに対する知見の積み重ねがあり、ある程度の感染は是としつつも、しっかりした対策を取れば大丈夫という認識が広まってきたものと推察します。各国においても、相当規模の各種スポーツ大会も開催され始め、観客も徐々に拡大させるなど、影響の程度も推測できるようになってきました。

こうした動きは、GoTo キャンペーンの展開や大学での対面授業再開など、これまで抑制していた多くの経済社会活動の動きにもみられます。

翻って、我が法人についてです。

緊急事態宣言が出されて以降、法人評議員会や理事会、各種イベントなど、大勢の人が集合する機会はことごとく中止または延期とし、書面決議や電話連絡などで代用してきました。本来ならばしっかり対面で質疑などを行い、法人事業の有り様を見守っていただくのが筋でしたが、それがかなわなかったことに対し、この場をお借りしてお詫び申し上げたいと思います。今後は、新型コロナウイルスとの共存を念頭に置き、十分な予防策を講じたうえで、可能な限り対応していきたいと考えております。

法人は、今年度からの5年間で中期経営計画を策定いたしました。この計画は、児童福祉の新たな方向を見据え、それに的確に答えていくためのプログラムであり、確実な履行が求められます。今後、法人として職員ともども議論を進め、コロナ禍に怯むことなく一丸となってその実現に取り組んでいく所存です。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

## 八栄寮の職員の仕事

児童養護施設こどものうち八栄寮 施設長 大村 正樹

こどものうち八栄寮は様々な理由で保護者の方と一緒に生活できなくなったお子さんをお預かりし、どこの家庭にもある普通の生活を提供する施設である。そして、子ども達が将来にわたって幸せに暮らせるように、一人一人の成長を応援するために様々な専門職が働いている。

その専門職が一堂に会し、子どもにとって一番よい支援は何かを話し合うのが自立支援会議である。

八栄寮では、おおむね半年に1回、自立支援会議が開催される。参加者は、保育士・児童指導員（ケアワーカー）、家庭支援専門相談員（ソーシャルワーカー）、心理職員、主任である。また、必要に応じて自立支援コーディネーター、里親支援専門相談員、栄養士・調理員、非常勤医師が参加する。

保育士・児童指導員は子ども達の毎日の生活のお世話をし、子どもの養育の中心的役割を担っている。いわば、お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さんのような存在である。

お父さん、お母さんなど保護者への支援を通じて、子ども達の家庭復帰や親子の関係の調整を行うのが、家庭支援専門相談員である。

また、近年、入所する子どもの多くが保護者から重篤な虐待を受けている。そのような心の傷をおった子ども達の回復を心理面からサポートするのが心理職員である。

会議では専門職同士、子どもの幸せを実現するために忌憚のない意見交換が行われる。取り決められた内容はそれぞれの専門職が役割分担をして、実践する。そして半年後の自立支援会議では方針の進捗状況の確認、新たな方針の決定を行っている。このようなサイクルで子ども達の支援をしている。

このように八栄寮では、自立支援会議を軸に、子ども達が将来にわたって幸せに暮らせるように、一人一人の成長を応援するために、様々な専門職が協力をしあって働いているのだ。



コロナ禍でも施設内で工夫しながら夏を楽しみました♪



☆七五三のお祝い☆  
職員が着付けをして、  
神社にお参りしました。

※プライバシー保護のため、写真は加工しています。  
※日頃から十分に新型コロナウイルス感染対策を行っておりますが、  
食事・運動・写真撮影時などはマスクを外している場合があります。





**家庭支援専門相談員(ソーシャルワーカー) 深野 恵莉香**

- ① 入所しているお子さんの親御さんへの支援（面会連絡等）や、関係機関（主に児童相談所）との連携、退所した子ども、家族の支援などです。
- ② 出勤→記録を読む→メールチェック→交流内容や子どもの気になる様子などを児相に報告→親御さんとの交流調整→書類の準備など→子どもたちのお迎え
- ③ 親御さんと関係ができてくる→関係機関と連携しながら、ケースを把握できる→子どもの幸せにつながる。一番は子どもの幸せのために、ですが、一番深く関わってくるのは親御さんです。親御さんから頼りにしてもらえている、支えになっていると思えると、次の活力になります。
- ④ 親御さんをはじめ、色々な人と関わって、自分自身もたくさんのことを学んだり、教えてもらえることが楽しいと感じます。



**里親支援専門相談員 石田 浩二**

- ① 施設から里親さん宅への委託を促進する。  
地区に住む里親さん、里子さんのお手伝いをする。
- ② 朝、児相と電話で情報共有、その後に里親さん宅の家庭訪問。  
午後、児相で担当福祉司や他施設の相談員との会議に出席。帰寮して記録作業。
- ③ 里親さん、里子さんの力になれること、普段生活を共にしていないことで出来るケアもあることを学んでいます。
- ④ 訪問を重ねることで、里親さん、里子さんと色々な話を共有できること。



**調理員 大塚 守**

- ① 毎日のごはんやお弁当、クリスマスなどのイベント時のごはんを作ります。たまに、おやつも作ります。
- ② 朝 5 時に出勤し、朝ごはんやお弁当作り、お昼ご飯作り。休憩をしてから夕ご飯の準備、食材の発注業務や献立作りなどの栄養業務をしています。
- ③ ごはんやおやつを「おいしかったよ!」「またつくってね!」なんて言われるととっても嬉しいし、「よし! 頑張ろう!」と思えます。
- ④ 子どもたちとたまに遊んだり、一緒にごはんを作ったりすること。少し時間ができた時に、おやつを作るのも楽しいです。



**事務員 東川 清典**

- ① 経理業務
- ② 8:30 事務所内の清掃、9:00 連絡会出席、措置費請求書を作成。  
13:00 小口現金整理確認。15:00 納品書、請求書の確認。17:30 退勤
- ③ 事務の仕事を通して、子どもたちの笑顔に触れること。
- ④ 時々、冗談を言ってみんなで笑えること（周りの人はあきれているかも）



## 「今後のリフレここのえの職員体制について ～ソーシャルワーカーを支える専門職体制構築に向けて～」

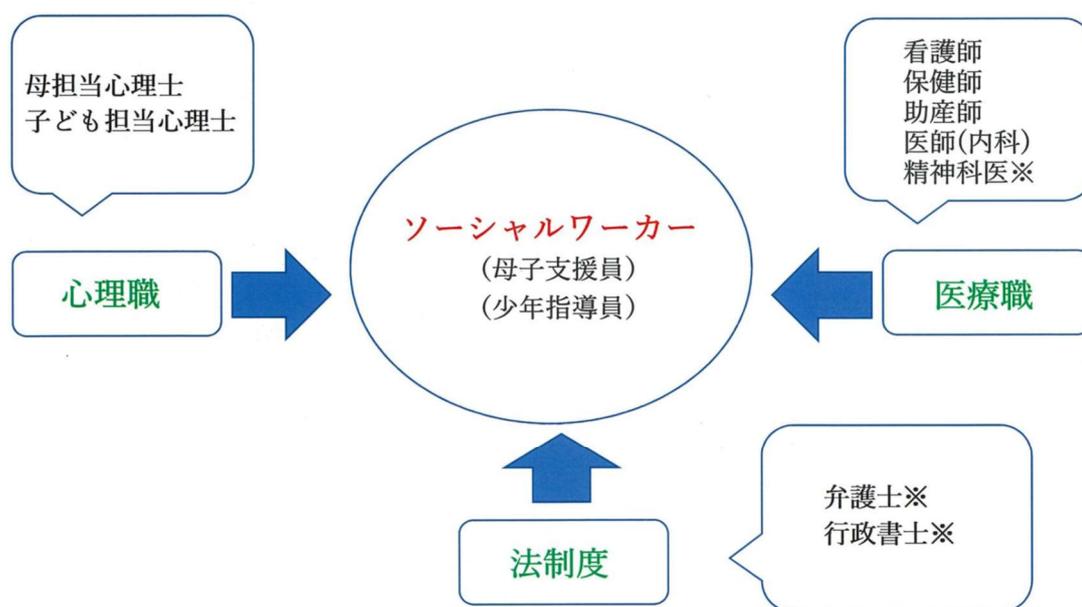
リフレここのえ 施設長 横井 義広

支援者が「困難さ」を抱えてしまうと思考が停止したり、その原因を利用者側に押し付けてしまったりしてしまふことがあります。そのようにならないためにはどうしたらよいかと考えてきました。

筆者は東京都母子福祉部会の海外視察でアメリカのNPOを見学したことがあります。（この視察は当法人の評議員である法政大学の岩田美香教授にコーディネートをお願いしました）。NPO といっても日本のNPOとは違い、年間15億円くらいの予算規模がありました。アメリカのソーシャルワークの基本はアウトリーチ（家庭訪問等）です。ソーシャルワーカーが家庭に訪問をして、様々な「困難」を持ち帰ります。本部には精神科医師、心理職員、法律の専門家などがいて、ソーシャルワーカーとコンサルテーション（専門職同士の意見交換）を行います。またソーシャルワーカーにはスーパーバイザーがいて、定期的にスーパービジョン（上級職員からの助言）をすること義務付けられていました。そのようなシステムでソーシャルワーカーはまた元気になって、再度地域の家庭に赴くのです。このようなコンサルテーション体制を構築していくことが、一連のソーシャルワークの過程において、支援者が「困難性」を感じずに利用者に向かう気持ちになるのではないかと考えています。

先日、リフレここのえでこのようなことがありました。お母さんが乳児の離乳食で卵をあげたところ、口の周りが赤くなってしまいました。看護師が聴診器で確認すると呼吸音に雑音があり、緊急に病院に行くということがありました。今リフレここのえには若いお母さんと乳幼児が多く生活しています。看護師は、ソーシャルワーカーと様々な情報交換をしながら、利用者支援に力を尽くしています。

### 今後のリフレここのえの職員体制

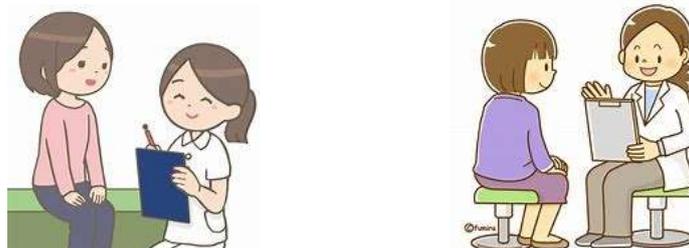


※未配置（令和2年9月18日現在）

## 看護師としての支援

リフレここのえ 看護師 井出 太子

私は、2018年にリフレで産前産後事業を開始する際、専門職配置の必要性が高まったことからご縁があり、看護職として勤務させて頂いております。リフレで支援が必要とされている母子の方たちは、各々の事情がありリフレでの生活がスタートしますが、支援につながるまでの経過の中で精神的に不安定となっておられる方が少なくありません。そのような状態の母子へと寄り添い、傾聴し、精神と心身の安定につながる看護の提供に努めております。子どもたちの成長は待ったなしで、どんな状況下においても母の愛情を求めてくるものです。育児には、母がそのことを正面に受け止められる力と対応できるだけのエネルギーを必要とされていると感じます。母が様々な状況や心身の不調に見舞われている際は、子どもも敏感に反応し精神的不安定や体調不良といった症状として現れることも珍しくありません。そういったことをアセスメントし、疾患によるものは病院受診を促し、治療へと繋げる。環境、成育歴、発達などから考えらえるものは母子支援員と話し合い、生活リズムの改善、環境整備、愛着形成の再構築を目的とした関わり等々で、身体状況の改善へとつながる支援をリフレ職員の方々と共に協力し日々行っております。



## 職員の健康相談・メンタルヘルス

リフレここのえ 保健師 村上 敦子

保健師の村上敦子と申します。私は『職員の健康相談・メンタルヘルス』を細々と担当しています。リフレここのえとのご縁は平成 26 年の 8 月頃からです。社会の変化に伴って母子支援施設の役割も変わってきており、入所理由は『夫からの暴力』が 7 割近くを占め、『心身に何らかの課題を抱えている方』も少なくないと聞いています。また、『外国籍の人』の利用も増えており、最近では妊娠期の特定妊婦を受け入れるなど、ニーズが多様化複雑化しています。日本の福祉職場は、まだまだ職員一人一人の熱意に支えられているのが現状です。福祉職場の職員は、バーンアウト(燃え尽き症候群)や代理受傷(被害者と同様の外傷性ストレス反応)を受けやすい業務ですので、自分の心と体の限界を知った上で、無理を重ねぬように、奮闘していただきたいと思っています。子育てしにくい社会構造になり、孤立の子育て等で『子どもの虐待』や『子どもの貧困』も社会問題です。『リフレここのえ』のような『母子の保護と自立支援』の役割を持った施設は、今後ますます重要になるでしょう。体を大切に、日本の子育て(未来)を支える大事な仕事を続けて欲しいと願っています。

夏はやっぱりプールだね！



お母さん、絵本  
読んで♪



## リフレの保育室

リフレではまだ保育園に入園できていない乳幼児の預かりをしています。また仕事を休めないお母さんの為に病児の預かりも行っています。そして平日の夕方から夜にかけて、お母さんにゆっくりしてもらう時間を作る為、幼児の預かりもしています。さらに、お母さんとお子さんが一緒に過ごせるように開放時間も設けています。

仲良くあそぼ♪



お母さん、誕生日  
おめでとう!!



リフレの庭で  
バーベキュー\*

まだまだ  
はやくなる  
ぜ～!

イケイケ♪



## リフレの学童

今年のキャンプは自分達でオリジナルのテントを作ってリフレの地下ホールにお泊まりしました。また、公共機関を使わず車で夕やけ小やけふれあいの里に行き動物と触れ合い、川遊びをしてきました。

食べてくれるかな？



私だけの  
オリジナル  
テントよ♪

【各施設在籍者・利用者数】

(令和2年11月末現在)

こどものうち八栄寮 幼児 10名 小学生21名 中学生 9名 高校生10名 専門学生2名 【計52名】	リフレここのえ 乳幼児 25名 小学生 6名 中高生 2名 【計20世帯53名】	八王子市子ども家庭サービス事業利用者数 令和2年6月～令和2年11月末 <small>のべ人数</small> ショートステイ 346名 トワイライトステイ 24名 合計 370名
---	--	--

## 資金収支決算書 令和元年度 社会福祉法人同胞援護婦人連盟

勘定科目		本部	こどものうち 八栄寮	リフレ ここのえ	子ども家庭 サービス事業	内部取引 消去	合計
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	0	344,129	122,003	11,127	477,259
		経常経費寄附金収入	5,175	1,805	78	0	7,058
		受取利息配当金収入	26	32	20	0	78
		その他の収入	1,939	8,207	5	0	10,151
	支出	人件費支出	7,853	233,597	82,890	8,857	333,198
		事業費支出	479	55,642	7,188	1,063	64,371
		事務費支出	8,321	53,875	20,753	1,062	84,011
		その他の支出	0	3,143	0	0	3,143
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0
		固定資産売却収入	0	0	0	0	0
	支出	固定資産取得支出	257	4,154	916	0	5,327
		ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	48	0	48
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	67,906	474	0	68,380
		拠点区分間繰入金収入	8,420	0	0	0	-8,420
		サービス区分間繰入金収入	0	0	0	0	0
	支出	積立資産支出	0	68,005	8,028	0	76,033
		拠点区分間繰入金支出	0	4,210	4,210	0	-8,420
		サービス区分間繰入金支出	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計		-1,350	-548	-1,452	146	-3,204	
前期末支払資金残高		193,501	103,780	33,017	1,009	331,307	
当期末支払資金残高		192,150	103,232	31,565	1,155	328,103	

## ～子どもたちのしあわせのために～

- 1 郵便振替 : 社会福祉法人同胞援護婦人連盟 00110-1-499359  
 2 ゆうちょ銀行 : 社会福祉法人同胞援護婦人連盟 019店 当座 0499359

- ・折り返し当法人からの領収書をお送りします。
- ・社会福祉法人に対するご寄附は確定申告で所得控除の対象になります。
- ・住民税控除についてはお住まいの区市町村へお問い合わせください。

## 社会福祉法人同胞援護婦人連盟

児童養護施設 こどものうち八栄寮  
 母子生活支援施設 リフレここのえ  
 八王子市 子ども家庭サービス事業

〒193-0944 東京都八王子市館町 2232-1  
 Tel:042-661-5891 Fax:042-667-0006  
<http://www.yasakaryou.or.jp>

## 編集後記

今号のテーマは「専門職」です。たくさんの職員が、それぞれの得意なこと、好きなことを活かし、ひとりひとりの幸せを願っております。コロナウイルスに負けず、みんなが毎日を穏やかに過ごせますように。

【広報誌担当 永野美涼・坂本一人・西川翼】

ご意見・ご感想・ご質問を法人宛のお手紙または FAX でぜひお寄せ下さい。お待ちしております。

# さかえ会・会費を送って下さった方々 ありがとうございます



平成31年4月1日～令和2年3月31日  
※敬称略

浅岡 鏡子  
浅山 明美  
阿部 三和子  
新井 美佐子  
粟田 清茂  
飯沢 美香  
飯沢 由里香  
飯島 淑子  
飯塚 キヨ  
石井 保  
石原 智弘  
井戸 裕子  
稲光 千秋  
上村 信子  
江浪 静子  
大須賀 裕子  
大戸 一子  
小川 清美  
奥田 裕子  
加島 美枝子  
加藤 富美  
鎌田 美由喜  
唐木 誠  
川合 貞子  
北原 喜美  
京極 里子

栗原 教子  
小坂 順一  
小佐野 志保  
小谷田 恵美子  
是澤 優子  
笹本 金治  
志立 和子  
神 幸子  
鈴木 ひと美  
高岡 万里子  
高橋 三枝子  
高橋 みつ子  
竹林 実紀子  
田所 惣一  
茅野 方  
土居 正昭  
中井 幸子  
永野 清一郎  
中村 年男  
新田 誠吾  
新田 雄一郎  
馬場 睦子  
播磨 美智子  
平岡 じゅん子  
平川 恭子

藤原 安都子  
淵上 伊久子  
細田 淳子  
松浦 敬祐  
松村 一郎  
馬渡 陽子  
三井田 綾江  
三上 眞喜子  
峰田 健  
森 光枝  
山田 美幸  
山宮 克巳  
吉田 敦子  
四関 安夫  
植田理容院  
サン・イースト 小谷雅則  
セブンイレブン館町店 黒沢栄  
セント・ベル幼稚園  
高尾華工房 人見ひとみ  
豊の寺岡  
東洋技研(株)  
成光運輸(株) 代表取締役 飯沢宗光  
ライトホーム 上田光智  
(株)東日本総合保険事務所  
(有)飯田 上中和彦

## 令和元年度さかえ会決算報告書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度より繰越	92,704	寄附金(同胞援護婦人連盟へ)	1,200,000
会員より会費、寄附金	1,348,000	進学・就職お祝い金	100,000
利息	0	手数料	12,449
合計	1,440,704	合計	1,312,449
次年度へ繰越			128,255

# 令和元年度 御寄附者名



平成31年4月1日～令和2年3月31日

※敬称略

Rachel Beightel	仲野 泰典	セブンイレブン館町店 黒沢栄
阿部 智英子	中村 ユキ子	全国シャンメリー協同組合
荒川 博	野村 みゆき	専門学校トヨタ東京自動車大学校
五十嵐 いと子	長谷川 貴秀	第一生命労働組合 八王子支部
池内 ひかり	古久保 きよ子	高谷行政書士事務所
池田 鋼一郎	細田	館町町会
池田 弘	溝呂木 宏紀	田中地区子ども会
石井 紀子	三宅 壮三	多摩信用金庫 めじろ台支店
石塚 正勝	村井 雄一	東京電力労働組合 八王子支部
井出 栄子	村松 健司	東京都蒟蒻協同組合
伊藤 明夫	山田 隼也	東京都信用組合協会
浮須 秀夫	湯澤 久一	東京馬主協会
打矢 正雄	横須賀 正三	東洋シャーリング工業(株)
内山 大樹	横山 征夫	長塚商店
大石 悦郎	鷺見 牧子	日本鏡餅組合
大平 豊昭	橋本 良枝	ブルーランジェリー パリール
小川 清美	山田 遥	婦人ボランティア 八栄グループ
尾熊 英一	森永 秀一	フローリストファミリア
小田 信子	島田 道太	ヘアメイクジーナ
加古 明子	梅木 友美子	ほいっぷ食堂
鹿島 尚武	飯田 駿	毎日新聞東京社会事業団
加島 美枝子	福永 佐衣子	満寿屋農園 湯澤久一
鹿島 良枝	平戸 ルリ子	ムーンバット(株)
鎌田 しづ江	鈴木 康規	明治神宮崇敬会
木戸 和子		めじろ台タウン自治会
黒井 秋夫・さち子	Earth Color Project	雪印小山乳業
小坂 新太郎	NPO法人 やすらぎ	横山南住民協議会
坂本 進	アイシン工業(株) 田中信夫	リサイクルショップめじろ台
嶋貫 明子	いちごクラブ	和太鼓鼓一 代表 小林勝彦
島本 一男	イトヨーカドー労働組合 八王子支部	(株)CDG
陣崎 草子	イトヨーカドー労働組合 南大沢支部	(株)CSネット
須藤 晃代	植田理容院	(株)いまいづみ
酢屋 善元	オーエム通商(株)	(株)コスモ・ジーテ
関口 和子	学校法人トヨタ東京整備学園	(株)ジェイ・ストーム
高野 裕史	桐田中学校学校運営協議会	(株)チュチュアンナ
高橋 佑介	グループホームやすらぎ 桐田	(株)プレナス
田川 真理子	グループホームやすらぎ 東浅川	(株)兵左衛門
瀧澤 智美	京王百貨店労働組合	(株)マゴメ
多田 環	国際コンサルティング協会	(株)メリーチョコレートカムパニー
田所 惣一	コストコホールセール多摩境倉庫店	(株)ユークリッド・エージェンシー
田野倉 誠	さかえ会	(有)ダスカジャパンクアウテモック
寺窪	サミー株式会社	
中島 広子	セカンドハーベスト	

以上の方々より寄附金、寄附物品を賜りました。ありがとうございました。